

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23   (12)	利用者一人ひとりの思いや暮らし方について、職員が共通理解できる体制が整っていない。	職員が利用者個々の思いを共通理解し、新たな気づきを得ることができる体制となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター方式のC-1-2 心身の情報(私の姿と気持ちシート)を使用して、利用者の思いを職員一人ひとりに書いてもらう。</li> <li>・ケアの方法として、「ひもときシート」を用いて、共感的に理解できたかアンケートを行い評価する。</li> </ul>	12ヶ月
2	33   (16)	重要事項説明書に「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を作成すると共に、「急変時ならびに終末期ケアに関する意向調査票(同意書)」の整備も整った。しかしながら、より具体的な内容なターミナルケアの内容についての希望が利用者や家族に対して確認できるような体制になっていない。	重度化や終末期に対し、家族や利用者が迷うことなく安心して迎えられるような整備を整える。また、職員においても看取りを不安なく支援できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時や終末期についての家族の具体的な希望を示せるような様式を作成し、記入してもらう</li> <li>・職員会議で行われるターミナルケアの研修に参加する(OJT)</li> <li>・重要事項説明書の「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を伝える機会を設ける</li> </ul>	12ヶ月
3	35   (17)	事業所以外の、地域や法人を巻き込んだ災害訓練が行えておらず、非常事態が発生した場合における訓練やマニュアルの見直しが行えていない。	法人全体を通して、災害訓練やマニュアルの見直しを行い、緊急時に備えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設する特別養護老人ホームの地域と共同して、災害リスクを想定した災害対策を行う。(運営推進会議でのハザードマップの紹介・風水害、土砂災害を想定した避難訓練の実施)</li> </ul>	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。